

平成27年度 強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)指導者研修

2日目 14:00～15:00

▶ 構造化の基礎

- ▶ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設
 - ▶ のぞみの園 診療部 臨床心理科
 - ▶ 山田 美希



1時間の流れと目的

▶ 流れ

- ▶ 強度行動障害支援者養成研修テキストに沿って、おこないます。テキストの準備をお願いします。

目的

- ▶ 構造化の考え方・基礎を理解すること。



構造化とは

- ▶ 今何をする時間か、
次にどうなるのかなど、
活動や世の中のことのしくみなどを、
その人に分かりやすく示す方法

構造化は特別なものか？

- ▶ 私たちも日々構造化された社会の中で
- ▶ 生きている



自閉症の人が理解するための6つの情報

- ① どこで (Where) 物理的構造化など
- ② いつ (When) スケジュールなど
- ③ 何を (What) ワークシステム・視覚的構造化など
- ④ どのくらい?いつまで? (How much) ワークシステム・視覚的構造化など
- ⑤ どのようなやり方で (How to do) ワークシステム・視覚的構造化など
- ⑥ 終了を理解、次に何をすればいいのか (What 's next) ワークシステム

これらについて、

その人に合うかたちを吟味し、構造化していく



どうして構造化するのか

自閉症の人に対して…

- ▶ 理解をサポートする
- ▶ 混乱を未然に防ぐ
- ▶ 自立するために、自分で行動するのを助ける
- ▶ 視覚的の手がかりを使って、適切に情報に焦点をあてるのを助ける
- ▶ 情報に注意集中し、効率的に学習する手助けをする

分かりやすくする → すべき行動を理解できる

→ ストレス・混乱が減る → 不安を感じなくて済む

→ 問題行動を起こすことが減る

勘違いされやすい構造化

- ▶ 全てにおいて仕切りを置けばよい？
- ▶ 皆に同じスケジュールを用意する？
- ▶ 単に、場所を色分けすれば皆が理解できる？
- ▶ 皆同じ課題を用意すればよい？・・・他



同じように、見えても一人ひとりにあった工夫がされている
(仕切りの高さ・スケジュールの内容・置かれている物等)



構造化の技法

- ① 物理的構造化
- ② スケジュール
- ③ ワークシステム
- ④ 決まった手順や習慣
- ⑤ 視覚的構造化



物理的構造化

▶ 部屋や作業所などの、家具・使用する物などの配置

* 物理的、視覚的に分かりやすい境界を作る

- ・棚、家具の配置
- ・じゅうたんや床材の色分け
- ・間仕切りカーテン・・・他

* 活動と場所の1対1の対応

- ・遊びや休憩の場所
- ・作業(自立課題)の場所
- ・おやつ、食事の場所
- ・トランジションエリア(スケジュールの提示場)・・・等

* 妨害刺激の除去

- ・不要な物を片付ける
 - ・空間の調整・遮断
 - ・音や光、周囲の動き、時計の置き場所・・・等
-



スケジュール

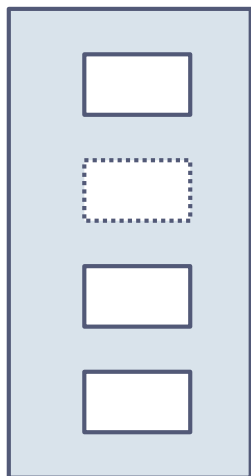
- ▶ どんな活動があるのか、その流れがどうなっているかを、視覚的に示す方法

* 個別化

一人ひとりにあったものを作る事が大事！

- ・無理のあるスケジュールは続かない
- ・本人の理解力、生活ペース、行動範囲等を考慮する
- ・他の人にあわせるためのものではない、本人が理解するため

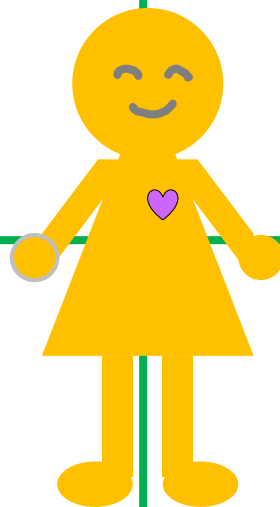
次の行動のみを提示



どのようなものが
一番わかりやすい…？



絵カードと文字の
スケジュール

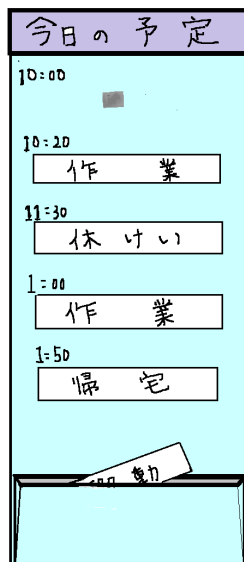


文字のスケジュール

終わったカードは下
に入れる

→次の行動へ移る
ための切り替え

トランジションエリア
などでも活用



文字のリスト

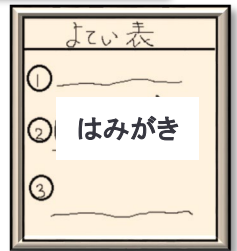
一日のスケジュール		
0:00 くらい	20分	作業所へ移動
0:20 くらい	40分	作業(ピッキング)
1:30	20分	休憩(好きなゲーム)
1:50	60分	昼食
5:00 くらい	20分	寮へ移動
0:00		就寝

予定が変更する場合があります

スケジュール

* スケジュールの種類 (どうやって伝えるか?)

- ・実物
- ・絵や写真などのカード
- ・絵と文字などの組み合わせ
- ・文字のカード(単語)
- ・文字のリスト(文章)



どれを使うとその人が理解しやすいかを考える!

スケジュール

* スケジュールの長さとは？

- ・ 次の行動だけ
- ・ 2個、3個、いくつか……
- ・ 半日
- ・ 一日
- ・ 1週間……

どれくらい先の見通しが立っていれば安心できる？







6月 スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 ゆうえんち に いく	4	5	6
7	8 かみ を きる	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 おかあさん と げすと ほろす	22	23	24 まくだなご に いく	25	26	27
28	29	30 こらんをもらう				

6月 25日 木曜日

8:00	おきる	でんきをつける	ばじやまのせんたく	せんたくものをしまう	お風呂のういをする
8:50	ごはん	おちゃ	さぎょう	ばじやまをほす	
9:40	すまいるにいく	でんきと えぬこんをけす			
11:15	かわせみにかえる				
11:45	おちゃ				
12:30	ごはん				
13:40	すまいるにいく	でんきと えぬこんをけす			
15:15	かわせみにかえる				
15:30	パジャマをしまう				
15:40	お風呂				
16:10	おやつ				
16:30	さぎょう				
17:30	ごはん				
17:50	せんたくものをほす				
20:00	おちゃ ほみがき				
20:15	さぎょう				
21:00	あしたのスケジュール				
21:30	とくれにいく				
21:35	ねる				

山田 たくろう

平成27年11月20日(火)

じゅんばん	すること	チェック
①	はじめのあいさつ 	
②	おはなし 	
③	べんきょう 	
④	あそび 	
⑤	おわりのあいさつ 	

きょう じかん じ ぶん
*今日のおわりの時間は3時00分です。

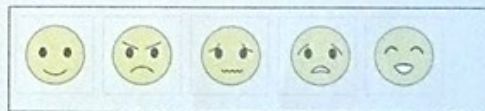


なまえ
名前

へいせい ねん がつ じち びつ
平成27年 月 日 ()曜日

やること	シール
① はじめのあいさつ	
② お話	
③ 絵を見て考えよう(SST)	
④ 工作	
⑤ 遊び	
⑥ おわりのあいさつ	

*いまのきもちを?



*感想

.....



ワークシステム

▶ 自立的活動をするための情報を伝える方法

* 自立的に活動するために

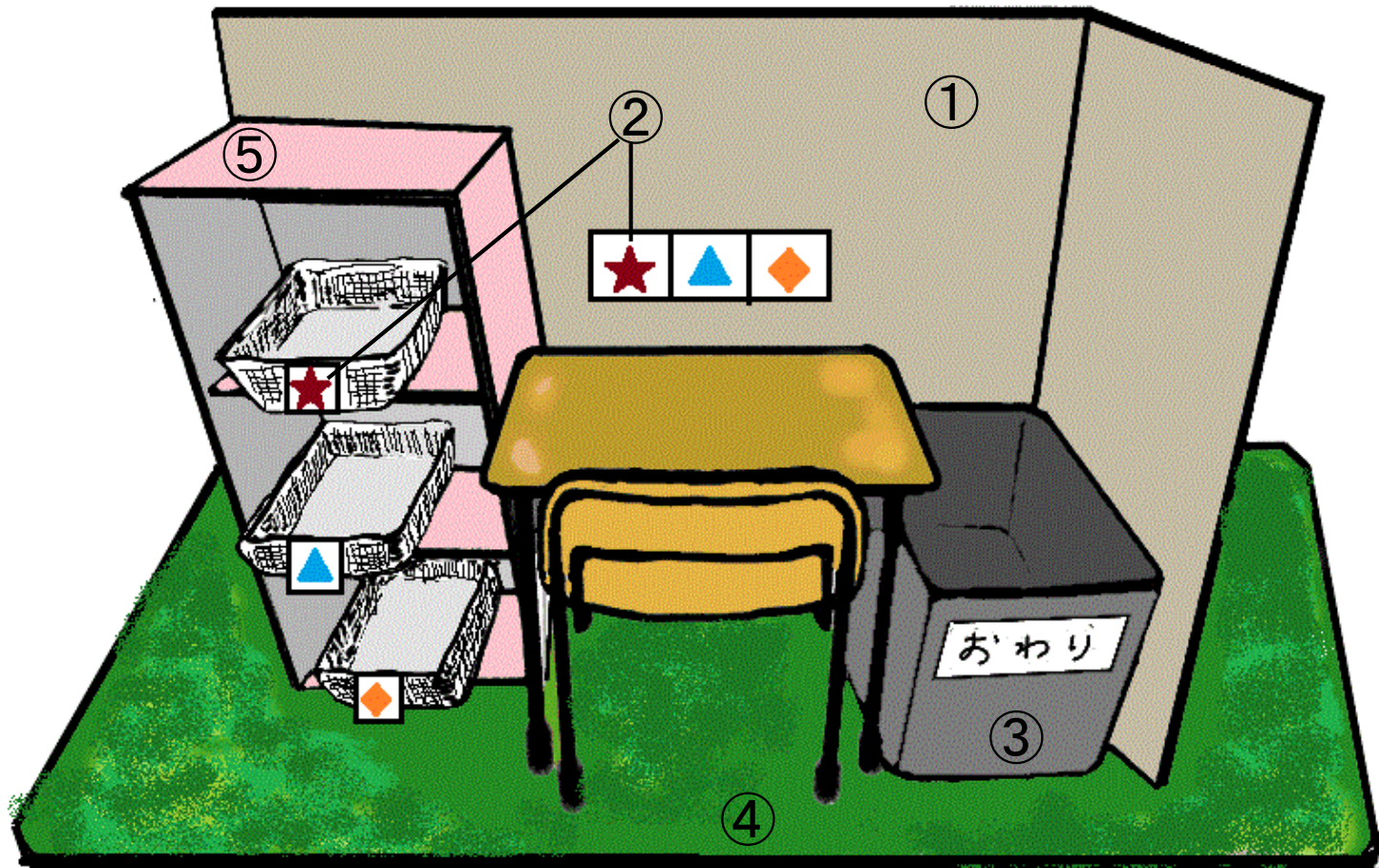
『自閉症の人が理解するための6つの情報を伝える(スライド5)』

(「何を」「いつまで」「どのようなやり方で」「終わったら次に何をするか」)

* ワークシステムの種類

- ・実物を並べる
 - ・マッチングを使う(絵・形・文字・絵・記号など)
 - ・リストを使う(単語や文章)
 - ・フィニッシュボックスの使用(終了箱)
 - ・時には、本人の興味があるものやキャラクター等を使う
-

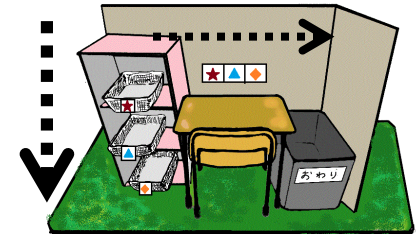
〔ワークシステムの一例〕



- ①間仕切り用パーテーション
- ②ワークシステム(形カードのマッチング)
- ③フィニッシュボックス
- ④色分けされた床(敷物)
- ⑤課題や作業の材料棚・材料かご

ルーティーン(習慣化)

- ▶ いつも、同じ手順で課題を行う
→上から下へ、左から右へ



- ▶ 習慣化することで、普段の生活を安定したものにする

例1)ガンダムのフィギアを棚から出す
→見て余暇を過ごす →棚に戻す

例2)鼻をかむ →ゴミ箱に捨てる



- ▶ ルーティーンを使って繰り返しているうちに学習する

視覚的構造化

▶ システムは“目で見る形”にして理解しやすく

* 視覚的提示

→課題を達成するための流れを視覚的に示す

絵や写真による指示 ・ 出来上がりの見本 ・ 作業手順書・・・他

* 視覚的明瞭化

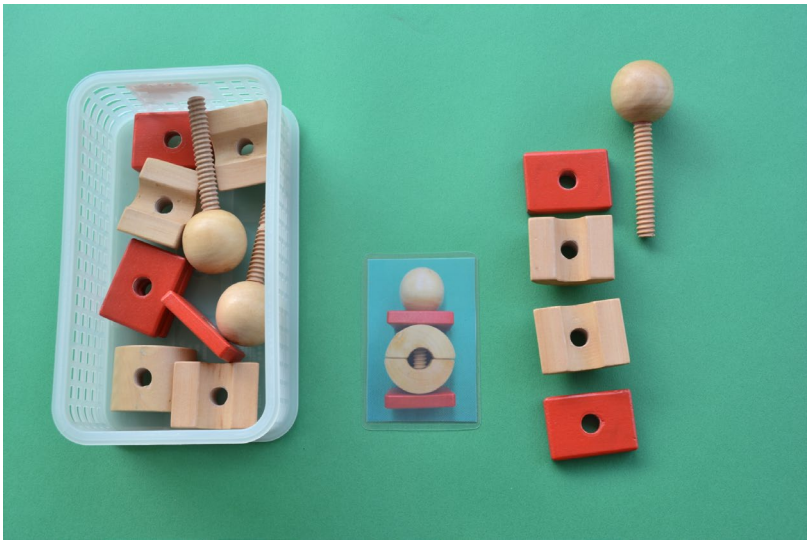
→重要な情報を視覚手的に強調する

色やマークを付ける ・ 作業や休憩所などの場所を区切る
作業をマスターするために、汚れなどをさらに明確にする・・・他

* 視覚的組織化

→材料や空間を組織する

左から右へ、上から下への手順
カゴの有効活用(材料などを容器に入れ分ける)・・・他





構造化を行うためのアセスメント

- ▶ 無理のない、楽しめる、機能的な内容を「効率的な」方法で構造化していくためにアセスメント(評価)は欠かせない

* 注目点1

本人に出来そうな事・作業等の取り組み方
集中できる時間・気の散りやすさ・・・他

* 注目点2

活動水準・現在もっているスキル・興味
変化への抵抗・移動への不安の強さ
言葉の理解度・説明の困難度・・・他



構造化の基本

アセスメント : 行動観察して仮説を立てる



構造化 : 安心できる環境の構造化



再アセスメント: 再び行動観察して仮説の検証



再構造化 : 本人の特徴により合った構造化



再々アセスメント

・・・繰り返していきながら

安心して生活できる環境を作る



自立課題

- ▶ 自立課題を通じて
- ▶ その人の持っているスキルを知る
- ▶ その人の持っているスキルを伸ばす
- ▶ 自信を持って行う時間を増やす
- ▶ 作業を意識して、課題を作ってみる
- ▶ 課題をつくりながら、作業種を考えてみる
- ▶



いろいろな自立課題

①マッピング

- ・色、形、大きさ
- ・文字、単語、言葉
- ・手触り
- ・欠けている物
- ・異なる形の属性
- ・・・他

③事務仕事

- ・紙を折る、封筒に入れる
- ・ファイリングをする
- ・あいうえお順に並べる
- ・住所ラベルを張る
- ・ワープロを使う
- ・・・他

⑤読み

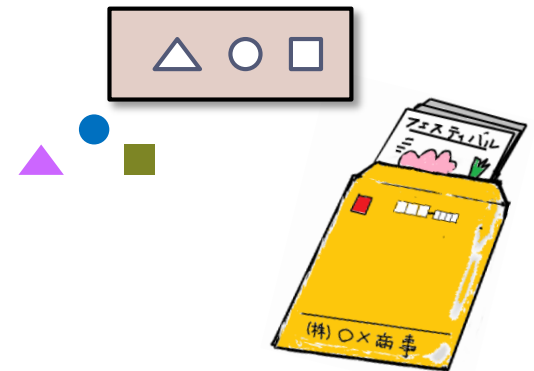
- ・文字を合わせる
- ・絵と物と文字を合わせる
- ・自分の名前の認識
- ・メニュー・電話帳
- ・・・他

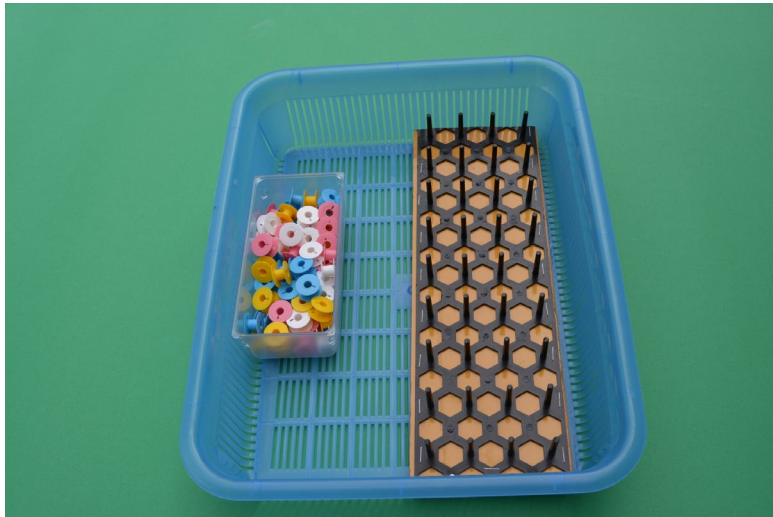
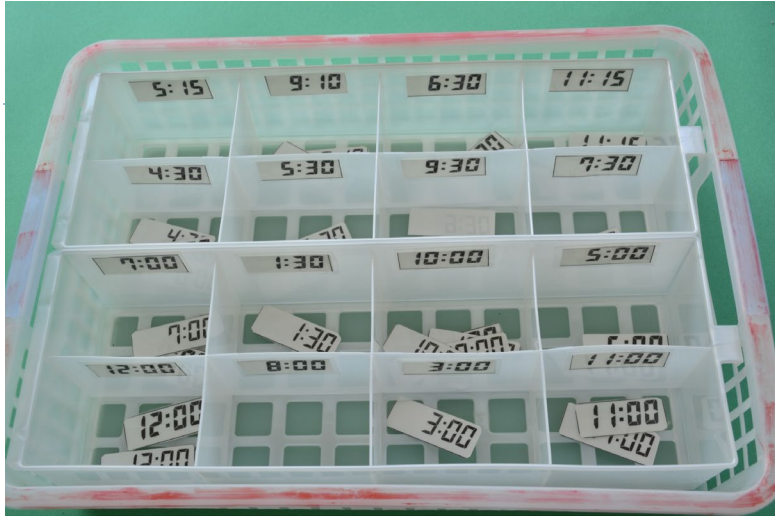
②組み立て

- ・押す、ねじる、はめる
- ・ねじまわし
- ・工具を使う
- ・・・他

④計算

- ・かぞえる
- ・数字順に並べる
- ・計算する
- ・計算機
- ・・・他









最後に

▶ 知るだけでなく、実践を重ねましょう。

▶ 参考図書

- ▶ ◇ 「親と教師のための自閉症の人がみている世界
自閉症の人を正しく理解する 1～3巻 DVD 」
(発行:朝日新聞厚生文化事業団)
 - ▶ ◇ 「自閉症の人が求める支援
よくわかる自立のためのアイデア 1～3巻 DVD 」
(発行:朝日新聞厚生文化事業団)
 - ▶ ◇ あきらめない支援 (発行:のぞみの園)
-